



開会式 吉岡院長

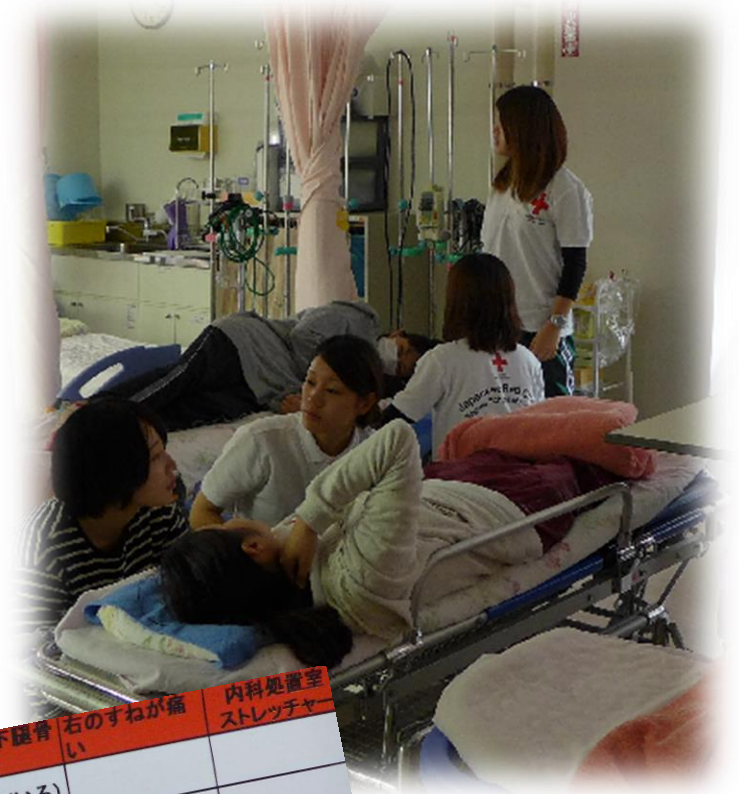
10月3日(土)長野赤十字病院の災害訓練に

学生(2・3年全員)が患者として参加しました。



患者役の説明

設定にそって、患者や家族になりました。



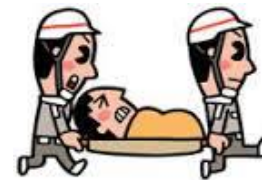
16	65歳	山下	純子	女性	避難時に転倒	右下腿に激痛、立つ ことできません	右下腿骨折	右のすねが痛い	内科処置室 ストレッチャー
2	65歳	山下	紀夫	男性	16の付き添い(「助けてくれ」と大騒ぎしている)				
3	30歳	山下	五郎	男性	16の付き添い				



70歳	藤本	雄大	男性	胸がごしたい	心筋梗塞の既往あり。難機感を訴える。	胸部圧迫感	「なんとなく胸が苦しい」	車いす	70	120/40
-----	----	----	----	--------	--------------------	-------	--------------	-----	----	--------



歩行できる人の誘導



エアストレッチャーの搬送



**中央ホールが処置室に変わりました。
病棟から移送された患者の
応急処置がされました。
(DRヘリの要請も)**



<感想>



患者役をやることにより、「説明がないので、どうなるのか不安で怖かった。」など、患者の視点を得ることができました。看護者としてどのように患者に接すれば安心を与えられるのか…今後の実習に活かしていけそうです。また、3年生は、災害演習を終了したばかりのため、搬送方法や治療・処置などを振り返られる機会になったようです。

